

1

午 後

(2018 年 12 月 16 日 13 時 30 分～15 時 30 分)

問 題

◎ 指示があるまで開かないでください。

注 意 事 項

1. 午後の試験問題の数は 77 問で、解答時間は正味 2 時間 00 分です。
2. 受験番号等の解答用紙への記入方法

はじめに、受験票に貼付されている受験番号シールを解答用紙左上の【シール貼付欄】に貼付してください。次に中央の欄に受験番号を、一番右の欄に氏名を HB の鉛筆又はシャープペンシルを使用して記入してください。

(例) 受験番号 0A-0001 の場合

シール貼付欄	 0A-0001	受験番号	0	A	-	0	0	0	1	氏名	心 理 花 子
--------	---	------	---	---	---	---	---	---	---	----	---------

3. 解答方法

- (1) 各問題には①から④までの 4 つの選択肢又は①から⑤までの 5 つの選択肢があります。問題に対応した選択肢を[例 1]及び[例 2]では 1 つ、[例 3]では 2 つを選び、解答用紙に記入してください。
- (2) [例 1]及び[例 2]の問題に 2 つ以上解答した場合は、誤りになります。
[例 3]の問題に 1 つ又は 3 つ以上解答した場合は、誤りになります。

[例 1] 公認心理師の名称を用いることができるのはどれか、正しいものを 1 つ選べ。

- | | |
|-------------------|----------------------------------|
| ① 公認心理師試験受験日以降 | <u>正解は④であるから解答用紙の④をマークすればよい。</u> |
| ② 合格発表日以降 | |
| ③ 資格申請日以降 | |
| ④ 公認心理師登録簿への登録日以降 | |

解答用紙 A の場合

1	①	②	③	④
↓				
1	①	②	③	●

解答用紙 B の場合

1	1
①	①
②	②
③	③
④	●

【例 2】公認心理師の資質向上の責務を定めている法律について、正しいものを 1 つ選べ。

- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-----------|--|------------|---|---|---|---|---|---|--|--|--|--|--|---|---|---|---|---|---|--|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ① 医療法 | 正解は④であるから解答用紙の④をマークすればよい。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ② 医療観察法 | 解答用紙 A の場合 | 解答用紙 B の場合 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ③ 社会福祉法 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ④ 公認心理師法 | <table border="1" style="border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr><td>2</td><td>①</td><td>②</td><td>③</td><td>④</td><td>⑤</td></tr> <tr><td colspan="6">↓</td></tr> <tr><td>2</td><td>①</td><td>②</td><td>③</td><td>●</td><td>⑤</td></tr> </table> | 2 | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ | ↓ | | | | | | 2 | ① | ② | ③ | ● | ⑤ | <table border="1" style="border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr><td>2</td><td>2</td></tr> <tr><td>①</td><td>①</td></tr> <tr><td>②</td><td>②</td></tr> <tr><td>③</td><td>③</td></tr> <tr><td>④</td><td>●</td></tr> <tr><td>⑤</td><td>⑤</td></tr> </table> | 2 | 2 | ① | ① | ② | ② | ③ | ③ | ④ | ● | ⑤ | ⑤ |
| 2 | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ↓ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2 | ① | ② | ③ | ● | ⑤ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2 | 2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ① | ① | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ② | ② | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ③ | ③ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ④ | ● | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ⑤ | ⑤ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ⑤ 精神保健福祉法 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

【例 3】公認心理師登録簿に登録される項目について、正しいものを 2 つ選べ。

- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---------|--|------------|---|---|---|---|---|---|--|--|--|--|--|---|---|---|---|---|---|--|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ① 氏名 | 正解は①と⑤であるから解答用紙の①と⑤にマークすればよい。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ② 年齢 | 解答用紙 A の場合 | 解答用紙 B の場合 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ③ 電話番号 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ④ 卒業年月日 | <table border="1" style="border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr><td>3</td><td>①</td><td>②</td><td>③</td><td>④</td><td>⑤</td></tr> <tr><td colspan="6">↓</td></tr> <tr><td>3</td><td>●</td><td>②</td><td>③</td><td>④</td><td>●</td></tr> </table> | 3 | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ | ↓ | | | | | | 3 | ● | ② | ③ | ④ | ● | <table border="1" style="border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr><td>3</td><td>3</td></tr> <tr><td>①</td><td>●</td></tr> <tr><td>②</td><td>②</td></tr> <tr><td>③</td><td>③</td></tr> <tr><td>④</td><td>④</td></tr> <tr><td>⑤</td><td>●</td></tr> </table> | 3 | 3 | ① | ● | ② | ② | ③ | ③ | ④ | ④ | ⑤ | ● |
| 3 | ① | ② | ③ | ④ | ⑤ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ↓ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3 | ● | ② | ③ | ④ | ● | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3 | 3 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ① | ● | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ② | ② | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ③ | ③ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ④ | ④ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ⑤ | ● | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ⑤ 登録年月日 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

(3) 解答は全てマークシート形式です。採点は、光学式文字読取装置によって行います。解答用紙への記入は HB の鉛筆又はシャープペンシルを使用してください。ボールペンは使用できません。また、例のように○をはみ出さないように、濃く塗りつぶしてください。

良い例 … ●

悪い例 … ●○●●● (←読取りができないため、解答になりません。)

4. 一度解答した問題を訂正する場合は、プラスチック消しゴムで消し残りのないように完全に消してください。鉛筆の跡が残っていたり、上から二重線などで消した場合は、訂正したことにはなりませんので注意してください。
5. 解答は、時間内に解答用紙に記入してください。試験時間終了後に記入した場合は、無効となります。また、問題冊子に直接記入しても採点されません。

問78 公認心理師の秘密保持義務違反になる行為として、正しいものを1つ選べ。

- ① クライエントの同意を得て裁判所で証言する場合
- ② 養育者による虐待が疑われ児童相談所に通告する場合
- ③ 意識不明のクライエントの状況について配偶者に説明する場合
- ④ クライエントのケアに直接関わっている専門家同士で話し合う場合
- ⑤ 通院中のクライエントのきょうだいから求められ病状を説明する場合

問79 児童虐待が疑われる事例の支援にあたって、公認心理師が関わる機関と介入の内容との組合せについて、正しいものを1つ選べ。

- ① 裁判所 — 一時保護
- ② 医療機関 — 医療費の助成
- ③ 市町村役場 — 里親への措置
- ④ 児童相談所 — 心理的支援
- ⑤ 女性相談センター — 生活保護

問80 人間性心理学の特徴として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 科学的であることを強く主張する。
- ② 人間の健康的で積極的な側面を強調する。
- ③ 価値や未来よりも過去や環境を重視する。
- ④ 代表的なものとしてアフォーダンス理論がある。
- ⑤ 動物と比較して人間らしい性質を系統発生的に明らかにする。

問81 心理学研究における観察法について、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 生態学的妥当性が低い。
- ② 因果関係を見い出すのに適している。
- ③ 観察者のバイアスが入り込みやすい。
- ④ 目的に関連する言動だけを効率的に取り出し定量化できる。
- ⑤ 現象をあるがまま見ることを基本とし、状況に手を加えない。

問82 クロス集計表の連関の検定で利用される確率分布として、正しいものを1つ選べ。

- ① F 分布
- ② t 分布
- ③ 2 項分布
- ④ 正規分布
- ⑤ カイ 2 乗分布

問83 自己効力感〈self-efficacy〉について、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 効力感は能力の評価や目標の内容に影響しない。
- ② 高い効力感をもたらす効果的な方法は制御体験である。
- ③ 結果期待と効力期待はそれぞれ独立に行動に影響を及ぼす。
- ④ モデリングによる代理体験で効力感をもたらすことは困難である。
- ⑤ 効力感が低い人ほど失敗したときに努力の不十分さに帰属することが多い。

問84 感情と認知の関係について、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 現在の気分は将来の出来事の予測には影響を与えない。
- ② 感情が喚起されるとそれに結びついた知識の活性化が抑制される。
- ③ 自分の気分を能動的に制御する場合は、気分一致効果は生じない。
- ④ 記銘時と想起時の気分が一致していると、記憶が再生されにくくなる。
- ⑤ 認知心理学の実験における気分誘導法の1つとして、音楽が用いられる。

問85 B. Latané と J. M. Darley の理論による緊急時の援助行動までの以下の1から5の意思決定過程の順序について、正しいものを1つ選べ。

- 1 何か深刻な事態が生じているという認識
 - 2 自分に助ける責任があるという認識
 - 3 事態が危機的状況であるという認識
 - 4 どうやって助ければよいかを自分は知っているという認識
 - 5 援助しようという決断
- ① 1 → 2 → 3 → 4 → 5
 - ② 1 → 2 → 4 → 3 → 5
 - ③ 1 → 3 → 2 → 4 → 5
 - ④ 1 → 3 → 4 → 2 → 5
 - ⑤ 1 → 4 → 2 → 3 → 5

問86 家族システム論について、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 家族システムには上位システムと下位システムがある。
- ② 家族成員間の境界があいまいな家族を遊離家族という。
- ③ G. Bateson の一般システム理論の影響を受けて発展してきている。
- ④ 家族の中で問題行動や症状を抱える人を FP〈Family Patient〉という。
- ⑤ 家族内で、1つの原因から1つの結果が導かれることを円環的因果律という。

問87 聴覚障害について、正しいものを1つ選べ。

- ① 伝音難聴は内耳の疾患によって生じる。
- ② 日本手話には日本語に対応した文法と単語がある。
- ③ 人工内耳植込術後、速やかに聴力の改善がみられる。
- ④ 発音指導は教育課程において自立活動の領域で行われる。
- ⑤ 補聴器で音の聞き分けが改善しやすいのは感音難聴である。

問88 DSM-5に記載されている知的能力障害について、正しいものを1つ選べ。

- ① 幼少期までの間に発症する。
- ② 有病率は年齢によって変動しない。
- ③ IQが平均値より1標準偏差以上低い。
- ④ 知的機能と適応機能に問題がみられる。
- ⑤ 重症度は主にIQの値によって決められる。

問89 トークンエコノミー法について、正しいものを1つ選べ。

- ① タイムアウトを活用する。
- ② レスポンスコストに基づく。
- ③ 賞賛によって行動を強化する。
- ④ バックアップ強化子〈好子〉を用いる。
- ⑤ 問題行動の減少を主要な目標とする。

問90 次の各種心理検査について、最も適切なものを1つ選べ。

- ① バウムテストは発達レベルの評価を目的として用いられる。
- ② WAIS は5歳から15歳を対象とする個別式知能検査である。
- ③ 新版 K 式発達検査は養育者への問診により簡便に実施できる。
- ④ ベンダー・ゲシュタルト検査では器質的な脳障害を把握できる。
- ⑤ MMPI はパーソナリティの全体像を把握するために有効である。

問91 内田クレペリン精神作業検査の実施と解釈について、正しいものを1つ選べ。

- ① 練習効果は反映されない。
- ② 作業量の水準ではなく、偏りの有無に注目する。
- ③ 結果は、定型、A 型、B 型、C 型、D 型及び E 型に分類される。
- ④ 作業速度の変化を示す作業曲線などから、被検者のパーソナリティを判定する。
- ⑤ 被検者は、ランダムに並んだ数字を、1分ごとに行を変え、30分間連続して加算する。

問92 認知行動療法に影響を与えた人物と理論又は技法との組合せとして、正しいものを1つ選べ。

- ① A. T. Beck — 条件づけ理論
- ② D. Meichenbaum — 学習性無力感理論
- ③ G. A. Kelly — 論理情動行動療法
- ④ G. H. Bower — 感情ネットワークモデル
- ⑤ H. J. Eysenck — 自己教示訓練法

問93 ひきこもり当事者への訪問支援(アウトリーチ型支援)について、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 当事者に会えない場合は、長時間の家族との面談は避ける。
- ② 近隣への配慮のため、原則として訪問スタッフは1人とする。
- ③ 相談意欲が極めて低い当事者には、対等な関係づくりから始める。
- ④ 訪問に際しては、家族の了解があれば当事者の了解は不要である。
- ⑤ 家族に重大な健康問題や家族機能不全のある場合は、当事者への訪問は避ける。

問94 認知症の症状を呈する病態で、治療が可能で病前の正常な状態に回復する可能性があるものとして、適切なものを1つ選べ。

- ① Pick 病
- ② 進行麻痺
- ③ 低酸素脳症
- ④ 正常圧水頭症
- ⑤ Creutzfeldt-Jakob 病

問95 災害発生後早期の支援について、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 身体に触れて安心感を与える。
- ② GHQ-28 を用いて被災者の健康状態を調査する。
- ③ 災害以前から治療を受けている疾患がないかを被災者に確認する。
- ④ 被災者のグループ面接で避難生活の不満を互いに話し、カタルシスが得られるようにする。
- ⑤ 強い精神的ショックを受けた被災者が混乱して興奮している状態を、正常な反応として静かに見守る。

問96 配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律〈DV 防止法〉について、正しいものを1つ選べ。

- ① 女性から男性への暴力は対象外である。
- ② 被害者の保護命令申立ては警察に対して行う。
- ③ 保護命令のうち被害者への接近禁止命令の期間は1年間である。
- ④ 婚姻関係以外の単なる同居中の交際相手からの暴力は対象外である。
- ⑤ 緊急時の安全確保のための施設には、厚生労働大臣が定めた基準を満たした母子生活支援施設が含まれる。

問97 生徒指導提要(文部科学省)に示されている生徒指導として、正しいものを1つ選べ。

- ① 教育課程における特定の教科等で行われるもの
- ② 学校全体として計画的に取り組む進路指導(ガイダンス)
- ③ 非行や暴力行為など問題行動を叱責・罰則によって抑制する教育活動全般
- ④ 校則に基づいて児童生徒に対して行われる個別指導を中心とした教育活動全般
- ⑤ 児童生徒の社会的な資質や行動力を高めることを目指して行われる教育活動全般

問98 幼児又は児童への司法面接について、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 児童が発言した言葉を面接者が分かりやすい表現でかみ砕いてフィードバックする。
- ② 児童が答えやすいように、基本的に問いかけは閉じられた(クローズド)質問とする。
- ③ 本題に入る前に、練習として本題と関係のない話題についてのエピソードを話させる。
- ④ 事実をしっかりと引き出すために同じ面接者が繰り返し面接を重ね十分な時間をかけて行う。
- ⑤ 様々な立場の専門職が面接の手法を変えて別々に事情を聴取し、それを持ち合った後で協議検討する。

問99 睡眠について、正しいものを1つ選べ。

- ① 夢を見るのはノンレム睡眠である。
- ② ノンレム睡眠は逆説睡眠とも呼ばれる。
- ③ 陰茎の勃起が起こるのはレム睡眠である。
- ④ 全身の骨格筋が緊張するのはレム睡眠である。
- ⑤ ノンレム睡眠は脳波によって第1期から第6期に分けられる。

問100 ストレス反応について、正しいものを1つ選べ。

- ① 甲状腺ホルモンは代謝を促進する。
- ② コルチゾールは肝臓における糖分解を促進する。
- ③ コルチコトロピン放出ホルモン〈CRH〉は下垂体後葉を刺激する。
- ④ ストレスに長期間暴露され、疲弊状態になると免疫系が活性化される。
- ⑤ ストレス反応の第1段階は短時間で終わる視床下部からのホルモン分泌である。

問101 突然の動作停止後にぼんやりとなり、口をもごもご動かしながら舌なめずりをして、自分の服をまさぐる動作が数分間みられる状態が月に数回あり、この状態があったことを覚えていない。この状態について、最も適切なものを1つ選べ。

- ① せん妄
- ② 解離症状
- ③ 欠神発作
- ④ 単純部分発作
- ⑤ 複雑部分発作

問102 境界性パーソナリティ障害〈情緒不安定性パーソナリティ障害〉の特徴について、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 他人の権利を無視し、侵害する。
- ② 他人の動機を悪意あるものとして解釈する。
- ③ 過度な情動性を示し、人の注意を引こうとする。
- ④ 社会的関係からの離脱と感情表出の範囲の限定が見られる。
- ⑤ 対人関係、自己像及び感情の不安定と著しい衝動性を示す。

問103 抗精神病薬の錐体外路系副作用として、正しいものを1つ選べ。

- ① 眠気
- ② 不整脈
- ③ 認知機能障害
- ④ 高プロラクチン血症
- ⑤ 遅発性ジスキネジア

問104 医療法に定めるものについて、正しいものを1つ選べ。

- ① 保健医療計画は市町村ごとに作成される。
- ② 三次医療圏は都道府県の区域を単位として設定される。
- ③ 医療事故調査制度は医療事故の責任の明確化を目的とする。
- ④ 医療施設は病床を有する病院と病床を有さない診療所とに区分される。
- ⑤ 医療事故調査制度は医療に起因すると疑われるすべての死亡事故を対象とする。

問105 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律〈精神保健福祉法〉の入院に関する規定について、正しいものを1つ選べ。

- ① 応急入院の入院期間は24時間以内に制限される。
- ② 任意入院者から退院の申出があったときは退院の制限はできない。
- ③ 措置入院は自傷他害の恐れのある精神障害者を市町村長が入院させるものである。
- ④ 医療保護入院者の退院請求は本人又は入院に同意した家族1名が行うことができる。
- ⑤ 精神科病院の管理者は医療保護入院者の退院促進に向けて退院後生活環境相談員を選任しなければならない。

問106 非行少年の処遇について、正しいものを1つ選べ。

- ① 少年院を仮退院した少年は保護観察に付されない。
- ② 家庭裁判所の処分として児童自立支援施設に入所することはない。
- ③ 保護観察では心理学の専門的知識を有する保護司が担当しなければならない。
- ④ 児童相談所は親権者又は未成年後見人の意に反して児童自立支援施設への入所措置はできない。
- ⑤ 矯正教育のために、少年鑑別所に収容されている時から各種心理的な治療プログラムを導入している。

問107 産業・労働分野の法令について、正しいものを1つ選べ。

- ① 労働基準法は、労働条件の平均的な基準を定めた法律である。
- ② 職業安定法は、労働者の地位を向上させることを目的としている。
- ③ 労働組合法は、労働争議の予防又は解決を目的とする法律である。
- ④ 労働安全衛生法は、労働委員会による争議の調整方法を定めている。
- ⑤ 労働契約法は、使用者が果たすべき安全配慮義務について規定している。

問108 心理的支援活動を概念化、理論化し、体系立てていくために必要となる公認心理師の姿勢として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 実際のデータよりも、予想と仮説を重視する。
- ② 想定される結論に合致するようなデータを収集する。
- ③ 自らが立脚する支援理論と整合するデータを基に理論化する。
- ④ クライエントの支援に有用でなければ、理論を修正することを検討する。
- ⑤ 支援の事実を記述する場合は、クライエントの発話に限定して詳細に記載する。

問109 子ども虐待対応の手引き(平成25年8月改正版、厚生労働省)で示す児童虐待のリスク要因に該当しないものを1つ選べ。

- ① 子どもが障害児である。
- ② 子どもが幼児期である。
- ③ 養育環境が単身家庭である。
- ④ 保護者に被虐待経験の既往がある。
- ⑤ 養育環境が子ども連れの再婚家庭である。

問110 公認心理師の責務と職業倫理とに基づく相談業務の対応として、不適切なものを1つ選べ。

- ① 国内外の様々な指針や研究結果を実践的に取り入れる。
- ② 自分が兼務している別の機関にクライアントを紹介する。
- ③ 友人から心理的支援の依頼を受けた場合は、多重関係となるため断る。
- ④ クライアントに自分自身でどの機関で援助を受けるか決めるよう助言する。
- ⑤ 初回の面接で自らが不在の際の対応について、クライアントに希望を聞く。

問111 青年期の特徴として、不適切なものを1つ選べ。

- ① 心理的離乳
- ② 直観的思考
- ③ モラトリアム
- ④ 2次性徴の発現
- ⑤ 発育のスパート

問112 コーピングについて、誤っているものを1つ選べ。

- ① ストレスフルな事態に対して行う認知的行動的努力である。
- ② ストレスフルな事態そのものに焦点を当てたコーピングを問題焦点型コーピングという。
- ③ ストレスフルな事態を過度に脅威的だと評価すると、選択できるコーピングの幅が狭くなる。
- ④ 事態に応じて柔軟に適切なコーピングを選択できることはストレスマネジメントの重要な側面である。
- ⑤ 解決が困難な事態では、問題焦点型コーピングが情動焦点型コーピングよりもストレス反応の低減効果が大きい。

問113 地域包括支援センターの業務について、誤っているものを1つ選べ。

- ① 権利擁護
- ② 総合相談支援
- ③ 短期入所生活介護
- ④ 介護予防ケアマネジメント
- ⑤ 包括的・継続的ケアマネジメント支援

問114 少年鑑別所で用いる、少年の再非行の可能性と教育上の必要性を把握する法務省式ケースアセスメントツールにおいて、意欲、態度、今後の教育等によって改善し得る要素として、誤っているものを1つ選べ。

- ① 本件態様
- ② 逸脱親和性
- ③ 自己統制力
- ④ 社会適応力
- ⑤ 保護者との関係性

問115 保護観察において受講が義務付けられた、医学、心理学、教育学、社会学その他の専門的知識に基づく、特定の犯罪傾向を改善するための体系化された手順による専門的処遇プログラムに該当しないものを1つ選べ。

- ① 暴力防止プログラム
- ② 飲酒運転防止プログラム
- ③ 性犯罪者処遇プログラム
- ④ 暴力団離脱指導プログラム
- ⑤ 薬物再乱用防止プログラム

問116 ワーク・ファミリー・コンフリクトとして、不適切なものを1つ
選べ。

- ① 仕事が忙しすぎたり、家事・育児の負担が大きい。
- ② 徹夜で家族の看病をして、職場で居眠りをしてしまう。
- ③ 仕事で疲れ切ってしまい、家族に食事を作る気力が出ない。
- ④ 仕事で大事な会議がある日に、子どもが熱を出したため会議に出席できない。
- ⑤ 教師が、教師として自分の子どもにも接してしまい、親として接することが難しい。

問117 心的外傷後ストレス障害〈PTSD〉について、誤っているものを1つ選べ。

- ① うつ病やアルコールの問題を合併することがある。
- ② 自分自身や他者への非難につながる、出来事の原因や結果についての持続的で歪んだ認識を持つことがある。
- ③ 私が悪い、誰も信用できない、いつまた被害に遭うか分からないといった、否定的な信念や予想が含まれる。
- ④ 一定期間が経過しても自然軽快しない場合には、トラウマに焦点を当てた認知行動療法や EMDR などの実施を検討する。
- ⑤ 日常的に行われる家庭内暴力〈DV〉や虐待などによって生じるものは含めず、災害、犯罪、交通事故などの単回の出来事によって生じるものをいう。

問118 記憶について、正しいものを1つ選べ。

- ① H. Ebbinghaus の忘却曲線では学習後 6 日目で最も急激に忘却が進む。
- ② Tip-of-the-Tongue〈TOT〉はメタ記憶のモニタリング機能を示す現象である。
- ③ 自転車の乗り方や泳ぎ方など自動的な行動を可能にする記憶を感覚記憶という。
- ④ A. D. Baddeley によるワーキングメモリのモデルで、視空間的な情報の記憶に関係するのは音韻ループである。

問119 心理学実験について、正しいものを1つ選べ。

- ① 行動に及ぼす要因を明らかにするために実験者が操作する変数を独立変数という。
- ② 剰余変数を統制するために、複数の実験者が入れ替わり実験を実施することが望ましい。
- ③ 実験者の期待や願望が意図せずして振る舞いに表れ、参加者に対して影響を及ぼすことをホーソン効果という。
- ④ 測定値が最大値に達することにより、説明変数の効果を検出する上で問題が生じることをキャリーオーバー効果という。

問120 プロスペクト理論について、正しいものを1つ選べ。

- ① 損失回避の傾向を説明することができる。
- ② 主観的な満足の数値は利得の絶対量に比例する。
- ③ 低い客観的確率は主観的には過小評価されるとする。
- ④ ある事象の起こりやすさを典型例と類似している程度によって判定するものである。

問121 クライアントとカウンセラーの作業同盟に問題があると疑われたときのカウンセラーの対処として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① クライアントが表現しにくい不満を言葉にすることを手伝う。
- ② できるだけ早く抵抗の解釈を行い、問題が恒久化しないようにする。
- ③ カウンセラーが対人的なスタンスを変えて、クライアントに合わせる。
- ④ 問題がクライアントの対人関係のパターンにあることをまず指摘する。

問122 KABC-IIについて、正しいものを1つ選べ。

- ① 米国版 KABC-II は習得度を測る尺度を設けている。
- ② 適用年齢は2歳6か月から18歳11か月までである。
- ③ 日本版 KABC-II は米国版の正確な翻訳版になっている。
- ④ 流動性推理と結晶性能力からなる認知尺度と、習得尺度との2尺度から構成される。

問123 J. T. Reason が提唱している安全文化の構成要素として、正しいものを1つ選べ。

- ① 組織の命令形態を堅持する。
- ② エラーやミスは影響度の高いものを報告する。
- ③ 過去に起こったエラーやミスから学ぶことを重視する。
- ④ 安全に関する規則違反や不安全行動については処罰しない。

問124 感情の発達について、不適切なものを1つ選べ。

- ① 1歳半頃から誇りの感情が現れる。
- ② 2歳後半になると罪悪感が現れる。
- ③ 出生時に、快(充足)、不快(苦痛)及び興味という感情を備えている。
- ④ 生後半年頃までに、喜び、悲しみ、怒り、恐れ、嫌悪及び驚きという感情が現れる。

問125 内発的動機づけと外発的動機づけの分類として、誤っているものを1つ選べ。

- ① 興味に基づいて行動が生起する場合は内発的動機づけに分類できる。
- ② 好成績をとる目的で行動が生起する場合は内発的動機づけに分類できる。
- ③ 罰を回避する目的で行動が生起する場合は外発的動機づけに分類できる。
- ④ 他者からの賞賛を得る目的で行動が生起する場合は外発的動機づけに分類できる。

問126 クライアントに関する個人情報の扱い方について、適切なものを2つ選べ。

- ① 情報を共有してよい者の範囲をクライアントに確認する。
- ② 親族と名乗る人から電話で問合せを受け、クライアントの悩みを伝える。
- ③ 別の機関に勤める公認心理師にクライアントへの対応について相談する。
- ④ クライアントの情報が入ったファイルを誰でもアクセス可能な場所に保管する。
- ⑤ クライアントの情報を大学院の講義資料として配布するために個人が特定されないように加工する。

問127 間脳の解剖と機能について、正しいものを2つ選べ。

- ① 間脳は中脳と小脳の間にある。
- ② 視床は卵型の白質の塊である。
- ③ 外側膝状体は聴覚の中継に関わる。
- ④ 下垂体は視床下部の支配を受ける。
- ⑤ 視床は温痛覚や深部感覚の中継に関わる。

問128 大脳の生理学的機能について、正しいものを2つ選べ。

- ① Broca 野は発語に関わる。
- ② 側頭葉は温痛覚と触覚に関わる。
- ③ 頭頂連合野は主に物の判別と記憶に関わる。
- ④ 劣位半球の障害によって失読と失書が起こる。
- ⑤ 前頭連合野は主に思考、意欲及び情動に関わる。

問129 新版 K 式発達検査について、正しいものを2つ選べ。

- ① 発達年齢と発達指数を算出する。
- ② 継次処理尺度と同時処理尺度から成る。
- ③ 運動、社会性及び言語の3領域で測定する。
- ④ 生後100日頃から成人まで適用可能である。
- ⑤ 成人用検査として開発され、徐々に適用範囲を拡大した。

問130 タイプ A 型行動パターンについて、正しいものを 2 つ選べ。

- ① M. Friedman が提唱した性格傾向である。
- ② 時間的切迫感、感情抑制、他者評価懸念及び社会的同調性の特徴を持つ。
- ③ 1950 年代の最初の報告以来、心筋梗塞の発症に関わることが一貫して示されてきた。
- ④ 行動パターンを変容させる介入研究により、心筋梗塞の再発を抑える効果が示されている。
- ⑤ 複数の特徴のうち、時間的切迫感が心筋梗塞発症の最も強いリスク要因であることが示されている。

問131 少子高齢化が進むわが国の現状について、正しいものを 2 つ選べ。

- ① 高齢化率は約 15 % である。
- ② 全世帯のうち児童のいる世帯は約 4 分の 1 である。
- ③ 高齢者のいる世帯のうち半数以上が夫婦のみ又は単独世帯である。
- ④ 要介護者の中で、介護が必要になった原因では、脳血管疾患が最も多い。
- ⑤ 要介護者と同居している主な介護者の約 3 分の 1 が悩みやストレスを感じている。

問132 児童虐待への対応で法律に定められているものとして、正しいものを2つ選べ。

- ① 児童虐待を受けていると思われる児童を発見した者は通告する義務がある。
- ② 通告を受けた児童相談所はすべての事例について家庭内に立入調査を行う。
- ③ 虐待を受けている児童を児童相談所が一時保護する場合、保護者の同意を得なければ保護してはならない。
- ④ 児童養護施設に入所したケースについて、児童と保護者が家庭復帰を希望すれば家庭に戻さなければならない。
- ⑤ 要保護児童の在宅支援においては、要保護児童対策地域協議会で関係機関が情報を共有し、協働して支援を行うことができる。

問133 統合失調症の特徴的な症状として、適切なものを2つ選べ。

- ① 複数の人物が自分の悪口を言っている声が聴こえる。
- ② 過剰に悲観的で、自分は貧しく、破産すると信じている。
- ③ 自分の考えが他人に伝わり、周囲に筒抜けになっていると思う。
- ④ 気分が高揚し、自信に満ちて、自分が世界の中心であると確信する。
- ⑤ 思考の流れが速くなり、考えが次から次に浮かんできて、話題が一定せず、会話がまとまらない。

問134 介護保険法について、正しいものを2つ選べ。

- ① 保険者は市町村及び特別区である。
- ② 要介護者とは要支援状態にある 65 歳以上の者をいう。
- ③ 国民は 65 歳に達すると保険料を納付する義務が生じる。
- ④ 65 歳以上の被保険者には受給のための特定疾病が政令で定められている。
- ⑤ 医療保険者は介護保険事業が健全かつ円滑に行われるよう協力しなければならない。

問135 健康日本 21(第二次)について、正しいものを2つ選べ。

- ① 地域保健法の規定に基づく。
- ② 平均寿命の延伸が基本目標である。
- ③ 生活習慣病の一次予防に重点を置いた対策を推進する。
- ④ 高齢者の認知症の治療や介護の推進が目標の 1 つである。
- ⑤ 小児科医と児童精神科医の増加が心の健康の目標の 1 つである。

問136 プライム刺激とターゲット刺激の意味的関連性によるプライミング効果について検討する目的で、語彙判断課題を用いた実験を行った。意味的関連がある(SR)条件の方が意味的関連がない(UR)条件よりも語彙判断の反応時間が短くなることを仮説とした。以下は論文における「結果」についての記述の一部である。

「プライム刺激とターゲット刺激の意味的関連がある(SR)条件と意味的関連がない(UR)条件別に、語彙判断の反応時間の平均と標準偏差を算出した。SR条件では $M = 620$ 、 $SD = 100$ 、UR条件では $M = 640$ 、 $SD = 100$ で統計的に有意であった。このことからプライミング効果が認められたといえる。」

この論文における「結果」の記述の問題点として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 刺激材料についての記述がない。
- ② 実験手続についての記述がない。
- ③ 文章が過去形で記述されている。
- ④ 適切な統計記号が使われていない。
- ⑤ 有意差を示す統計量の記述がない。

問137 40歳の男性 A、会社員。仕事でいくつも成果を上げ、大きなやりがいを感じている。部下へのアドバイスやサポートも惜しまず、人望がある。一方、家庭では息子の学業成績の不振や生活態度の乱れに不満を持ち、厳しく注意したり威圧的にふるまったりすることから、それに反発した息子と言い争いになることが多い。最近、息子は A と顔を合わせることを避け、自室に引きこもるようになった。

E. H. Erikson のライフサイクル論における A の発達課題(危機)として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 自律性 対 疑惑
- ② 親密性 対 孤立
- ③ 信頼性 対 嫌悪
- ④ 勤勉性 対 劣等感
- ⑤ 生成継承性〈世代性〉 対 停滞

問138 4歳の男児 A、幼稚園児。2歳頃、単語が話せない、他児への興味を示さない及び視線が合いにくいという症状のため受診したがその後通院はしていない。数字が大好きで数字用のノートを持ち歩くなど、自分なりのこだわりがある。状況の変化には混乱して泣いたりすることが多いが、親が事前に丁寧に説明するなどの対応をとることで、Aも泣かずに我慢できる場面が増えてきた。

公認心理師が A の支援をするにあたって、担当の幼稚園教諭からの A の適応状況に関する情報収集と A の行動観察に加え、A に実施する心理検査として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① HDS-R
- ② WISC-IV
- ③ 田中ビネー知能検査
- ④ DN-CAS 認知評価システム
- ⑤ ベンダー・ゲシュタルト検査

問139 17歳の男子 A、高校2年生。スポーツ推薦で入学したが、怪我のため退部した。もともと友人は少なく、退部以降はクラスで孤立し、最近欠席も目立つようになっていた。「死にたい」と書かれたメモを A の保護者が自宅で発見し、スクールカウンセラーに面接依頼があった。保護者との面接では家庭環境に問題は特に認められず、A は「死ぬつもりはない」と話したという。A との面接では、落ち着かずいらいらした態度で、「死ぬ方法をネットで検索している。高校にいる意味が無い」、「今日話したことは誰にも言わないでください」と語った。

スクールカウンセラーの判断と対応として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 自殺の危険は非常に低いが、A を刺激しないよう自殺を話題にすることを避ける。
- ② 自殺の危険が比較的低いため、ストレスマネジメントなどの予防的対応を行う。
- ③ 自殺の危険が比較的低いため、得られた情報は秘密にし、A との関係形成を図る。
- ④ 自殺の危険が非常に高いため、A の安全を確保して、医療機関の受診に結び付ける。
- ⑤ 自殺の危険が非常に高いため、自殺企図を引き起こしたきっかけを尋ね問題の解決を図る。

問140 20歳の男性 A、大学生。最近、気分が落ち込むことがあり、学生相談室を訪れた。以下に A と公認心理師 B との対話の一部を示す。

B：一番気持ちが動揺するのは、どんなときですか。

A：成績が悪かったときや女の子にふられたときですね。

B：例えば、成績が悪かったとき、頭に浮かぶのはどんな考えですか。

A：みんなが僕を軽蔑していると考えます。僕は負け組だって。

B：女の子にふられたとき、頭に浮かぶのはどんな考えですか。

A：大した奴じゃないということ。男としての価値がないんですよ。

B：今のいくつかの考えに、何か繋がりが見えますか。

A：僕の気分は他の人が僕をどう見ているかに左右されてるんじゃないでしょうか。

この対話で B が用いている技法として、正しいものを 1 つ選べ。

- ① 構造化面接
- ② 問題解決技法
- ③ 誘導による発見
- ④ モデリングの実践
- ⑤ マインドフルネスの導入

問141 84歳の女性A、夫と二人暮らしである。Aは2年前に大腿骨を骨折し手術を受けたが、リハビリを拒否したまま退院した。現在は歩行が困難で、食事は不規則であり、入浴もあまりしていない。Aは易怒的であり夫に暴言を浴びせる。遠方に住む長女から地域包括支援センターに相談があったため、センター職員が数回訪問し、認知症を疑った。

このときの認知症初期集中支援チームによる支援として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 整形外科の医師がチームに加わる。
- ② 初回訪問はチーム員の介護福祉士2名で行う。
- ③ 出来るだけ早くAを精神科病院に入院させる。
- ④ 初回訪問から介護保険サービスの利用を開始する。
- ⑤ 初回訪問で、専門の医療機関への受診に向けた動機づけをAと夫に行う。

問142 68歳の女性A、夫と二人暮らしである。Aは2年前にLewy小体型認知症と診断され、月1回専門医療機関に通院している。特に介護保険サービスは受けておらず、日常生活にも大きな問題はない。物忘れは目立たないが、男の人が台所に立っているという幻視がある。夫に対して「あなたは夫と似ているけどにせ者だ」と言うことがある。

Aに認められている症状として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 記銘障害
- ② 常同行動
- ③ 転導性の亢進
- ④ カプグラ症候群
- ⑤ 被影響性の亢進

問143 9歳の男児 A、小学3年生。Aは、入学時から学校で落ち着きがない様子が見られた。担任教師がサポートしながら学校生活を送っていたが、学年が進むとささいなことで感情が高ぶったり教室の中で暴れたりするようになった。Aの学業成績はクラスの中で平均的であった。スクールカウンセラーとAの母親が継続面談を行い、Aには個別の指導が必要であると判断した。

Aが利用する機関として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 児童相談所
- ② 教育支援センター
- ③ 児童自立支援施設
- ④ 児童家庭支援センター
- ⑤ 通級指導教室(通級による指導)

問144 大学の学生相談室のカウンセラーが、教員 A から以下のような相談を電話で受けた。

「先月、ゼミを1か月欠席している学生 B を指導するため面談しました。B は意欲が減退し、自宅に引きこもり状態で、大学生にはよくある悩みだと励まし、カウンセリングを勧めましたがそちらには行っていないようです。B は私とは話せるようで、何回か面談しています。今日の面談では思い詰めた表情だったので、自殺の可能性を考え不安になりました。後日また面談することについて B は了承していますが、教員としてどうしたら良いでしょうか。」

このときのカウンセラーの A への対応として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① B の自殺の危険性は低いと伝え、対応は A に任せる。
- ② カウンセラーが B と直接会ってから A と対応を検討する。
- ③ B にカウンセリングを受けることを強く勧めるよう助言する。
- ④ B の問題を解決するために継続的に A に面談することを提案する。
- ⑤ 危機対応として家族に連絡し医療機関への受診を勧めるよう助言する。

問145 9歳の男児 A、小学3年生。Aは、担任教師 B に注意されるにもかかわらず、他の児童の持ち物をとることを繰り返している。すでに自分が持っている物でも繰り返しとる。とった物を別の児童にあげることもある。Bは A がクラスに適応するように対応をしているが、繰り返し他の児童のものをとることを放置しておけず、A を呼び出して注意する。注意すると A はニコニコしながら、理解した様子で、あれこれ的を射た応答をしてくる。A が理解した様子のため、もう繰り返さないだろうと B は期待するが、すぐに同じことが繰り返される。

A の行動の説明として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 収集癖を有している。
- ② 注目欲求を満たそうとしている。
- ③ 自分のものをとられたという妄想による行動である。
- ④ 知的に低く、教師の言うことが十分に理解できない。
- ⑤ 問題児扱いされて転校させられることをねらっている。

問146 5歳の男児A。Aの父母は性格の不一致から協議離婚をした。協議の結果、親権者となる母親がAを養育することと、月1回のAと父親との面会交流とが取り決められた。ところが、2回目の面会交流以降、Aは父親との面会交流に消極的になってきた。困った母親は市の相談室に来室し、公認心理師である相談員と面談した。

この場合の助言として、不適切なものを1つ選べ。

- ① 父親との面会交流の前に具体的に行き先をAに話しておく。
- ② 母親との分離不安の可能性も考え、当分は母親も面会交流に立ち会う。
- ③ Aが面会交流に消極的になる理由を父母で話し合い、Aの真意を探る。
- ④ 父親がプレゼントを用意することによってAの面会交流への意欲を高める。
- ⑤ 父親からのAに対する虐待がなければ面会交流を継続する方向で検討する。

問147 55歳の男性A。従業員20名の企業の社長(事業者)である。職場で精神疾患による休職者が多発し、対応に苦慮している。ストレスチェック制度を活用することで、これ以上の休職者が出ないようにしたいと、相談室の公認心理師Bに相談に来た。Bは必要な研修を修了し、産業医とともに、ストレスチェックの共同実施者となっている。

Aの相談に対するBの対応について、不適切なものを1つ選べ。

- ① Aに職場の集団分析結果を提供し、必要な対応を協議する。
- ② Aに未受検者のリストを提供し、未受検者に受検の勧奨を行うよう助言する。
- ③ 面接指導の実施日時について、Aと従業員とが情報を共有できるよう助言する。
- ④ Aに面接指導を受けていない者のリストを提供し、面接指導を受けるように勧奨するよう勧める。
- ⑤ 面接指導を実施した医師から、Aが就業上の措置の必要性及び措置の内容について意見聴取するよう助言する。

問148 幼児を対象とした怒りのコントロール法として、新しい方法 X と従来の方法 Y の効果を、置換ブロック法による無作為化比較試験によって検証することとなった。(1)ブロックサイズを 6 とし、84 名の実験参加者を乱数によって A 群：新しい方法 X、B 群：従来の方法 Y の 2 群に割り付ける。(2)各群にそれぞれ X と Y を実施する。(3)遊び場面で怒りについての観察によるアセスメントを行う。

この計画において注意すべきことについて、正しいものを 1 つ選べ。

- ① (2)と(3)は同一人物が行う。
- ② (1)の結果を(3)の実施者に伝えない。
- ③ ブロックサイズを 4 とし、実験参加者を 90 名にする。
- ④ 割り付けで A 群が 5 回続いた場合、乱数による割り付け結果にかかわらず B 群にする。

問149 15歳の女子 A、中学3年生。最近、成績が下がっているため中学校の相談室の公認心理師に初めて相談に来た。Aは成績低下の理由として、「集中力が落ちて勉強が手につかず、塾に行ってもほとんど頭に入ってこない」と話した。次第に口数が少なくなり、「両親が離婚を話し合っているため、自分の将来が不安で仕方がない」と絞り出すように言っていて涙をこぼした。

公認心理師の A への言葉として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 勉強が手につかないことは、辛く苦しいですね。
- ② 両親のことをここで話すことは勇気がいることでしたね。
- ③ 成績は落ちても努力すれば、またすぐに上がってきますよ。
- ④ 自分もまったく同じことを経験して苦しみましたが克服できました。

問150 14歳の男子 A、中学2年生。Aは日頃学業への取組が不十分であり、定期試験の答案が返却される度に、点数が低いのは自分に能力がないからだと考えていた。しかし、今回の定期試験では努力した結果、Aは高得点をとることができた。Aはたまたま問題が簡単だったからだと考えている。

原因帰属理論に基づいて、Aの担任教師がAの学業への取組を促すための対応として、最も適切なものを1つ選べ。

- ① 次回のテストも簡単かもしれないから大丈夫だと伝える。
- ② 今回は運が良かっただけなので慢心しないように注意をする。
- ③ Aには高得点をとる能力があるのだということを繰り返し強調する。
- ④ 問題が簡単だったからではなく努力したから高得点だったと強調する。

問151 30歳の男性A。Aは公認心理師Bによるカウンセリングを半年ほど受けていた。生活面での問題の改善がみられ、A自身も変化に実感を覚えていた。そのためBが、そろそろカウンセリングを終わりにしても良いのではないかと提案したところ、Aはすぐに合意した。「カウンセリングを通して自信がついたのでこのままやっていけると思います」とAは力強く語った。

終結のプロセスとして、不適切なものを1つ選べ。

- ① これまでのプロセスに関するBの見解をAに伝える。
- ② Aに自信があるので、今回を最終面接として終結する。
- ③ 終結によって様々な感情が起こってもおかしくない伝える。
- ④ 今後、カウンセリングを受けないことへのAの不安について話し合う。

問152 20歳の男性 A、大学生。「誰かが自分の中に入ってくるから気持ちが悪い」と言い、半年前から大学を欠席するようになった。最近は「町中の人々が自分の命を狙っている。もう死ぬしかない」と言っていた。A は包丁で自分を刺そうとしているところを発見され、家族に連れられて来院し、即日、医療保護入院となった。1 か月後、病識はないものの、症状が改善したため退院することとなった。主治医は退院後の方針について A の家族に説明した後、公認心理師に面接を依頼した。

公認心理師が行う A の家族への説明として、適切なものを 2つ 選べ。

- ① 精神症状は再発することがあります。
- ② 大学に休学の手続きをとってください。
- ③ 服薬の管理は本人に任せてください。
- ④ 外来通院を続けるように支援してください。
- ⑤ 入院前に思っていたことは妄想なので、もう考えないように説得してください。

問153 50歳の男性A。うつ病の診断で通院中である。通院している病院に勤務する公認心理師がAと面接を行っていたところ、Aから自殺を計画していると打ち明けられた。Aは「あなたを信頼しているから話しました。他の人には絶対に話さないでください。僕の辛さをあなたに分かってもらえれば十分です」と話した。

このときの公認心理師の対応として、優先されるものを2つ選べ。

- ① 自殺を断念するように説得する。
- ② 自殺予防のための電話相談を勧める。
- ③ 主治医に面接内容を伝え、相談する。
- ④ 秘密にするという約束には応じられないことをAに伝える。
- ⑤ Aの妻に「話さないでほしい」と言われていることを含めて自殺の計画について伝える。

問154 6歳の男児A。4歳のときに母親は継父と再婚し、その後、継父は母親とAに暴力を振るうようになった。5歳のときに、Aは継父からの暴力により腕と足首を骨折した。母親がAを病院に連れて行き、病院からの虐待通告後、継父は逮捕された。Aと母親は転居し、Aは保育所に通い始めた。Aは意欲が乏しく内気に見えるが、時折、別人のようになって他児に暴力を振るう。昼寝の時間は全く眠れず、家でも夜は何度も目を覚ます。乳幼児健康診査では何の問題も指摘されていなかった。

Aに考えられる心理的問題として、適切なものを2つ選べ。

- ① 心的外傷後ストレス障害
- ② 養育者との愛着形成の阻害
- ③ 支配的で暴力的なモデルの取り入れ
- ④ 保育所に入所したことによる心理的ストレス
- ⑤ 注意欠如多動症／注意欠如多動性障害〈AD/HD〉

